



おぐに

2015

3

NO. 725





～風を切るスピードはスリル満点～

2月14日に、総合スポーツ公園で開催された杉沢スノーライダース「ちょすべ!!」(佐藤一也代表)主催の「おぐにスノートレック (SNOWTREK)」では、スノーモービルで引っ張るバナナボート乗りが大人気。子どもたちは「もう1回乗りたい!」と何度もバナナボートに乗り、大きな歓声を上げながら楽しんでいました。

特集

今求められる住民と地域主体の 新たな地域づくり

急速に進行する少子高齢化とそれに伴う過疎化は、地方の農山漁村地域の日常生活や集落維持に大きな影響を及ぼしています。住民が将来にわたって安心して住み慣れたふるさとで暮らせる地域社会を実現していくために、住民と行政、そして外部のかたがたなど多くの主体が協働・交流・連携しながら地域づくりに取り組むことが求められています。特に、それぞれの地域の良さと課題をよく知ったうえで、その地域自らが主体となって地域の将来像を描き実践することが、地域の人々の活気づくりと幸福感につながります。今月は、町内で行われている地域づくりの実践を紹介し、地域とその住民が主体となった地域づくりの必要性について考えます。

写真：小玉川地区で開催した健康ウォーキングルート
「ブナの森七曲がりコース」モニターツアーの様子

過疎化に伴う深刻な影響

我が国では、晩婚・未婚化による出生率の低下や長寿命化による高齢化の進行、地方の若年層の都市部への流出など、少子高齢化と人口減少、過疎化が深刻な問題となっています。これにより、地域医療の確保や交通、買い物など、住民の日常生活への影響が懸念されています。また、これらの問題の波及により、地域の連帯感の希薄化や相互扶助機能の低下も危惧されます。加えて、生産年齢人口の減少は税収の落ち込みを招き、行政サービスの縮小につながることを考えられます。

こうしたことから、行政と住民やさまざまな団体等による協働のまちづくりに加え、地域とその住民が主体となった地域づくりを進めていく必要性が高まっています。

自ら実践する地域づくりを応援

町では、自ら考え実践する地域づくりを応援する「小国

町ふるさとづくり総合助成事業」を行っています（表1参照）。

これは、複数の集落等からなる地域コミュニティ組織や産業・文化等の振興を目的につくられた組織などを対象に、地域間交流や地域の特性を活かしたコミュニティ行事などに対して助成を行い、地域が主体となった活動の活性化を図るものです。

中田山崎地区では、全戸数の約半数が高齢者世帯となっており、地域内のコミュニティ活動が減少傾向にありました。そのため、高齢者の交流の場である地域サロンの活動拡大を計画しました。しかし、会場となる中田山崎公民館は築50年を経過しており、老朽化が著しいうえに建物内の大きな段差や旧式のトイレなど、特に高齢者にとっては利用が大変な状態でした。こうしたことから、中田山崎地区と周辺地区で構成する玉川地域振興協議会（伊藤忠吾会長）で、平成26年11月に、「小国町ふるさとづくり総

特集 今求められる住民と地域主体の新たな地域づくり

小国町ふるさとづくり総合助成事業の概要

【表1】

補助事業名	補助事業の内容等	補助金の額
①ふるさとづくり実践事業	ふるさと計画策定に必要な事業、生活環境の整備に関する事業、地域間交流に関する事業、年中行事等伝統文化の継承に関する事業、地域の特性を活かしたコミュニティ行事に関する事業、その他地域の活性化に必要な事業	当該事業費の2分の1以内の額とし、500万円を限度とする。
②テレビジョン難視聴対策事業	テレビジョン難視聴地域において当該地域住民が設立しているテレビ共同受信組織が当該施設の更新を行う事業（日本放送協会と共同で行う事業で、かつ加入者1世帯当たりの負担額が3万円を超える事業に限る）または当該施設に衛星放送受信施設を併設する事業	当該事業費の2分の1以内の額とし、加入世帯数に1世帯当たり5万円を乗じた額を限度とする。
③特認事業	上記①②以外で、町長が特に必要と認める事業	当該事業費の2分の1以内とする。

※詳細は総務企画課政策企画室（☎ 62-2264）へ



中田山崎公民館で開催する地域サロンには多くの住民が参加

合助成事業」を活用して中田山崎公民館の改修工事を実施し、館内のバリアフリー化を図りました。

中田山崎公民館長の舟山好郎さん（片貝）は「地域で代々使ってきた建物をこれからも大切に使うという意識と改修工事に踏み込みました。公民館は、地区の年中行事等よく利用する場所なので、使い勝手が良くなり助かりました。地域サロンの参加者からも安心して参加できるといった声が聞かれ評判も良いようです。公民館は地域活動の中心となる建物ですので、これを機に交流機会を広げ、地域の枠を超えた活動にもつながっていくければと思います」と話してくれました。

全国的に過疎地域では、日常生活に必要な買い物や交通、医療などのサービス低下が懸念されています。

こうしたことから国土交通省では、「小さな拠点」づくりを推進しています。これは、小学校区など複数の集落が集まる地域で、商店や診療所といった生活サービスなどを歩いて動ける範囲でつなぎ、拠点となる施設等と各集落のネットワークの構築により地域の生活サービスを維持していくという取り組みです。

平成25年から、「小さな拠点」づくりの調査・研究とノウハウの普及を図るため全国からモニター調査地を募集し、平

「小さな拠点」づくり
モニター調査の取り組み



中田山崎地区
舟山好郎 公民館長

成25年に小玉川地区、平成26年に北部地区が選定されました。両地区では、児童生徒数の減少により平成20年に小玉川小中学校、平成25年に北部小中学校が閉校するなど、地域内・地域間の交流活動が減少しつつあることに加え、地域固有の文化の継承と地域の新たな担い手づくりなどが課題となっています。このことから、モニター調査において課題の整理や目標の設定、活動計画の検討を行い、地区全体が一体となって持続可能な地域づくりに取り組んでいくこととしています。

①小玉川地区
小玉川地区では、小玉川地区自然教育圏整備促進協議会（本間泰輔会長）内に小さな拠点づくり検討委員会を設置し、地域の若者等を委員としたワーキンググループとともに平成25年8月から平成26年2月までの期間、モニター調査に取り組みました。その間、地域住民へのアンケート調査や地域づくりセミナーを開催

特集 今求められる住民と地域主体の新たな地域づくり

し、地域の現状と課題の把握や地域の拠点づくり等に向けた検討を行いました。その結果、協働による地域経営や地域資源活用と健康をキーワードにした活動方針を定め、具体的な活動に取り組むこととしました。

健康をキーワードにした地域づくりとして、地区内に延長約2・1キロメートルの健康ウォーキングルート「ブナの森七曲がりコース」を整備しました。あたり一面にブナの木々が生い茂るコースで昨年11月に実施されたモニターツアーには、町内外から約70人が参加し好評を得ました。

また、運営体制の構築として、地域の女性で組織する「姫さゆり」を結成し、地域の食の掘り起こし活動を始めました。加えて、平成24年に旧小玉川学区在住の若者で結成した「小玉川青年団イチコロ」は、毎年3月に雪を活用したイベント「雪の中の大冒険」を開催しています。旧小玉川小中学校グラウンドを会場に雪の迷路やスノーフラッグな



小玉川青年団
舟山和樹 代表

どが行われ、町内外から多くの来場者が訪れています（今年の日程は14ページに掲載）。「小玉川青年団イチコロ」の舟山和樹代表（小玉川）は、「地域内の若者が減ってきている中、まずは若い自分たちが楽しみながら地域を盛り上げていこうと取り組んでいます。そうした姿が地域内の子どもたちや転出した元住民、町外のかたがたに魅力として伝われば、自分もここで暮らし続けたいという思いや人を呼び込むことにつながると思っています」と話してくれました。

今後同地区では、旧小玉川小中学校を拠点とした活動の推進やウォーキングルート案内人の養成、町外との交流を図るふるさとネットワークづくりを進めていくこととしています。

②北部地区

北部地区では、北部地区振興協議会内に地域住民による小さな拠点づくり検討委員会を設置するとともに、「観光・交流」と「暮らし・伝統文化」をテーマにした2つのワーキンググループを立ち上げ、平成26年8月から平成27年2月までの期間、モニター調査に取り組みました。同地区においても、地域内の現状や課題の把握を行うため、地域住民へのアンケート調査を行いながら検討を進めてきました。

北部地区では、白い森交流センターりふれを中心とした拠点づくりの在りかたや地域資源の活用方法のほか、地域交流をいかに進めていくかが議論されました。

1月31日に開催された地域づくりセミナーでは、国土交通省の「小さな拠点」検討委員を務める日本大学経済学部沼尾波子教授による講演や同地区ワーキンググループのコーディネーターを務める(有)地域環境デザイン研究所の宮原博通所長からこれまでの活



りふれで開催された地域づくりセミナー

動報告と講評が行われたほか、参加した地域住民との意見交換が行われ、地域づくりの必要性や今後の活動について理解を深めました（内容はP5上段参照）。

今後の同地区における地域づくりについて、北部地区振興協議会の益田勝雄会長（五味沢）は、「これまで、多くの地域住民のかたがたにご協力をいただき、今後の北部地区について検討を重ねてきました。ワーキンググループで



北部地区振興協議会
益田勝雄 会長

特集 今求められる住民と地域主体の新たな地域づくり



地域環境デザイン研究所
宮原 博通 所長

持続可能な地域づくりへ

地域づくりを進めるうえで、地域住民の交流の場や活躍の場は大変重要です。地域の魅力を住民が意見を出し合って明確化し、それを活かした取り組み内容を情報発信することで外部から人を呼び込むことにもつながります。これまでの活動を踏まえて、住民が主役となる取り組みに結びつけていくことが大切です。

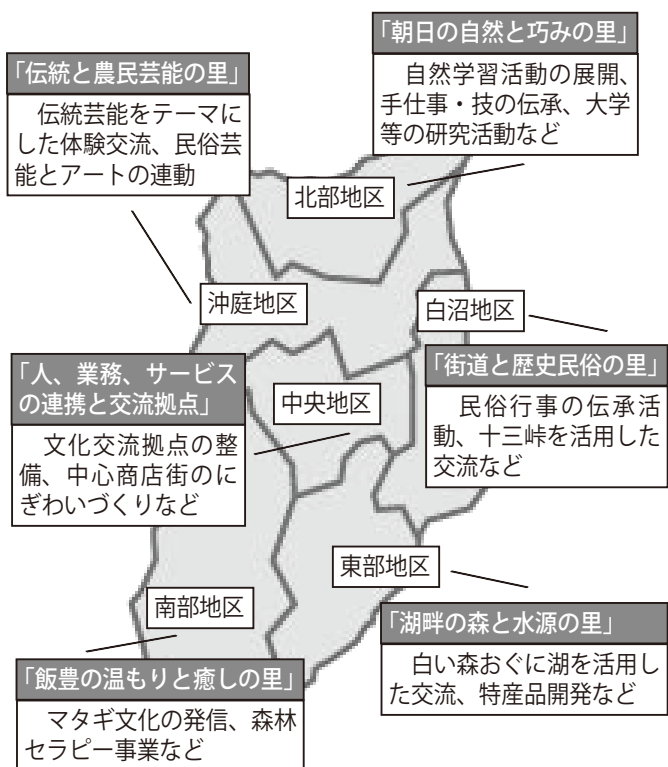
住民のつぶやきを形に

人口減少や少子高齢化は今後も進行するとみられ、特にこれからの地方行政の財源不足が懸念されています。そのため、今のうちから地域住民が主体となった地域づくりが必要です。住民のちよっとしたつぶやきなどをもとに、楽しみながら、やれそうなことから取り組むことが、暮らしの維持と地域活性化への第一歩です。



日本大学経済学部
沼尾 波子 教授

6つの地区別地域づくりテーマ



地域づくり計画の策定へ

平成26年3月に町が策定した「第4次小国町総合計画・後期基本計画」では、住民が主体となった地域づくりによ

は、北部地区の8集落合同の盆踊りや運動会を開催してはどうかといった意見が出ました。今後はモニター調査による取り組みを踏まえ、北部地区が一体となつてできることから実践し、継続した地域づくりへとつなげていきたいと思っています」と話されました。

また、それぞれの地域をより良いものにしていくため、課題解決に向けて誰がどのように行動していくかといった計画の必要性が高まっています。今後は、本町で行われた「小さな拠点」づくりモニター調査活動を踏まえた取

る町の活性化策として、6つの地区別の地域づくりテーマと取り組みを設定しています（左図参照）。住民一人ひとりが、それぞれの地域活動に関わることで活力ある地域づくりの実現につながることが期待されます。

それぞれの地域づくりを通して活力あるまちづくりへ

り組みを推進するほか、町と各地域による活動を通じてそれぞれの地域が将来像とそれに向けた活動計画等を整理する「地域づくり計画」の策定支援に向けた取り組みを進めていくこととしています。

今後も住民が安心できる暮らしを継続させていくためには、住民と地域が主体となった地域づくりを進めていくことが重要です。そのためには、地域の特性や魅力を住民が理解し、それを取り組みへつなげていくことが大切です。また、地域のイベントに町外の大学生等が参画し交流拡大へとつなげている地区もあることから、外部人材との交流も有効な地域づくりの方策になると考えられます。町では、住民と地域の主体的な活動を支援するとともに、外部を含めた多様な人々との協働・交流・連携を推進し、活力あるまちづくりを進めていきます。

小国町議会臨時会

平成27年第1回小国町議会臨時会が、1月27日に開会されました。平成26年度一般会計補正予算などが審議され、原案のとおり可決されました。主な内容は次のとおりです。

専決処分の承認

除排雪経費について、断続的な降雪によって12月の除排雪経費が前年同月実績の2倍となる見込みとなり除排雪経費の確保に緊急を要することから、除排雪経費1億円を追加する補正予算の専決処分を1月7日に行いました。これについて報告し、承認されました。

一般会計に

6833万4千円を追加

一般会計では、債務負担行為の追加および変更を行ったほか、昨年12月からの大雪・暴風雪に伴い、不足が見込まれる除排雪経費や高齢者等暮

らし応援事業における限度額の引き上げ分の経費など、6833万4千円を追加することとし、補正後の同会計の予算総額は62億9608万3千円となりました。

1月15日に設置した小国町雪害対策連絡会議での協議等を踏まえ、町民生活の安心・安全をより一層確保するために必要な除排雪経費を措置しました。

町民税非課税の高齢者世帯等を対象に1世帯あたりの上限を5000円とした灯油購入助成事業を行うこととし、これに要する経費を措置しました。

単身高齢者等の除雪を支援する高齢者等暮らし応援事業について、1世帯あたりの利用限度額を3万6千円から7万2千円に引き上げることとし、これに要する経費を措置しました。

井上英典さんを招き 小国町スポーツ講演会を開催

第47回西置賜地区スポーツ振興懇談会および平成26年度小国町スポーツ講演会が、1月31日、総合センターで開催されました。当日は、沼沢出身で、現在、埼玉県富士見市立東中



学校教諭で男子バレーボール部の顧問を務める井上英典氏による講演が行われ、体育関係者など約130人が聴講しました。

井上氏は、部活動における練習・指導方法や選手の育成方法などのほか、全国大会に出場した際のエピソードを交え、「部活動ばかりでなく勉強との切り替えが大切。他人のミスをカバーできるのがバレーボールで、その姿勢が人格の形成へとつながるのではないか」と話されました。

小国小学校が 「公共の色彩賞」を受賞



優れた環境色彩を生み出す建物や街並みを顕彰する「第27回公共の色彩賞」(公共の色彩を考える会主催)に、新小国小学校が全国11カ所の1つとして入選しました。

地場産木材をふんだんに使い、ぬくもりある空間づくりがなされていることや素材の色合いを活かした内装や外装が周囲の環境に調和していることが評価されての受賞となりました。

平成27年度 採用 町立病院職員を募集 ～募集人員を満たすまで募集を継続します～

■募集職種と募集人員

- ①診療情報管理士 1人
- ②理学療法士、作業療法士、言語聴覚士のいずれか 1人

■受験資格

- ①昭和50年4月2日以降に生まれたかたで診療情報管理士の資格を有するかた
- ②昭和55年4月2日以降に生まれたかたで理学療法士、作業療法士、言語聴覚士のいずれかの資格を有するかた

■試験内容 書類審査、作文試験、面接試験

■試験および採用日程

- ＝3月中申込みの場合＝
- ・申込締切 3月31日(火)
 - ・試験日 4月10日(金)頃を予定
 - ・採用日 6月1日(月)頃を予定

■その他 詳しくは町または町立病院のホームページをご覧ください。

■問合せ先 町立病院 (☎61-1111) へ

小国町公式フェイスブック ページをはじめました！



2月13日に、小国町公式フェイスブックページを開設しました。町からのお知らせやイベント情報などを随時発信するほか、災害時など緊急の情報も提供します。インターネットを通じてどなたでも閲覧することができますので、町ホームページ内のリンク等からご覧ください。

(<https://www.facebook.com/town.oguni.yamagata>)

■問合せ先

総務企画課地域振興室 (☎62-2264) へ

～町長室便り～
雨二モマケズ②

いのちを繋ぐ

盛田 信明



現在、人工透析治療の患者さんは全国的に増加傾向にあり、本町においても20名を超える患者さんがいます。このかたがたは、町外5カ所の医療機関で2日に一度人工透析を受けていますが、冬期間にあつては、吹雪の中を往復3時間以上かけて通院しているのが現状です。さらに、高齢化など患者さんの実態をみると、何とか負担を軽減したい、そのために町立病院での人工透析実施に向けて、関係機関にお願いをしてきました。このたび、いろいろとご指導いただいたまいりました北里大学医学部腎臓内科教授の鎌田貢寿先生から「地域医療と血液透析治療」と題して講話をいただきました。当日は、「患者の云々の皆さんをはじめ、町議会議員、医療・福祉関係のかたがた約50人が聴講されました。鎌田先生は、日本で人工透析治療が始まった当時に医師になり、以来40年以上にわたって腎臓病の研究治療に取り組んでこられた腎臓病と透析治療の権威であり



北里大学の鎌田教授による健康講話

ます。講話では、「透析医療と治療機器の著しい進歩で患者さんの負担も軽減されている。関東では、歩いて通院できる範囲に透析医療機関があり、患者さんはお風呂屋さんに行く感覚で透析を受け元気で長生きしている」と現状をやさしくお話しいただき、町立病院での必要性についても言及されました。私は、課題は多くありますが町立病院における人工透析実現に向けた強い決意のもと一歩ずつ前進してまいりますので、患者の皆さまはじめ町民各位のご理解とご支援をお願いします。

新町 60 周年記念

白い森の国 “ ふるさとおぐに ” フォトコンテスト審査結果の発表

新町 60 周年記念白い森の国 “ ふるさとおぐに ” フォトコンテスト審査会が、2 月 23 日に行われました。応募総数 340 点（一般の部 307 点、町民の部 33 点）の中から、自然写真家の鈴木一雄審査委員長のほか 4 人による厳正な審査の結果、次のとおり各賞が決定しました。

一 般 の 部

最優秀賞兼ポスター賞

「新雪の朝」 野島俊介さん（新潟県三条市）

優秀賞兼ポスター賞

「移ろいの^{とき}季」 片岡美子さん（栃木県さくら市）

優秀賞「輝く秋」 石倉盛夫さん（新潟県新潟市）

入 選「雪山水」 城 基 義 さん（愛知県名古屋^{たち}市）

「映える秋」 斎藤のりこさん（東京都杉並区）

「霧の中の大樹」 小野寺鉄雄さん（福島県郡山市）

佳 作「湖畔冬景」 齋藤弥輔さん（小国町大字伊佐領）

「湖の守り神」 鈴木明吉さん（山形県南陽市）

「雪花の湖」 斎藤 徹 さん（山形県飯豊町）

「うららかな春」 山本啓三さん（新潟県新潟市）

町 民 の 部

優秀賞（一般）

「春はもうすぐ」 宮尾敦朗さん（あけぼの）

「秋陽に伸びる」 渡部寿郎さん（ 叶 水 ）

「ふるさとの水辺」 竹田正志さん（ 北 ）

「聖地」 渡部正勝さん（ 東 原 ）

「風の遊び」 木内茂雄さん（伊佐領）

優秀賞（高校生以下）

「スキー場のある風景」 青木玲花さん（小国町）

※入賞作品については、後日、町のホームページで公開します。

スノーツーリズム・イン・小国 モニターツアーを開催



スノーツーリズム・イン・小国モニターツアーが、2月7日と8日の2日にわたり五味沢地区で行われました。これは、外国からの旅行者誘致を図るためのモニターツアーとして、首都圏の大学に通う留学生を対象に町が実施したものです。

参加したタイやミャンマー等からの留学生 15 人は、雪灯ろう作りやさいず焼きなど、小国の冬ならではの魅力を存分に体感しました。

地域資源活用域学連携事業 2 月合宿

地域と大学が交流・連携し、地域資源や魅力を再認識して町の活性化へつなげる地域資源活用域学連携事業 2 月合宿が、2 月 12 日から 18 日までの期間、町内各所で実施されました。今回は、早稲田大学などの学生 16 人が参加し、町内の施設や企業の見学のほか、雪山トレッキングなどを体験しました。

活動の締めくくりに行われた地域課題解決コンテストでは 4 班に分かれて地域の活性化策などを発表しました。発表では、SNS（インターネット上の交流サービス）を使った情報発信や雪を使った婚活イベントなど、学生らしいアイデアが提案されました。



平成 26 年度 みどり環境交付金事業

「白い森おぐに」森林理解と体験活動の取り組みについて

町では、山形県みどり環境税を活用して、森林や農林業への理解、自然環境保全の意識の醸成を図ることなどを目的としたさまざまな事業を展開しています。ここでは、今年度の取り組み内容を紹介します。

白い森づくり体験事業

【間伐教室】

町内小学生の親子を対象に、林業機械の実演や枝払いなどの間伐体験のほか、広葉樹の葉を使ったオリジナルハンカチづくり、ネイチャーゲームを行いました。

間伐の必要性を学ぶとともに天然林の観察を通して森に関心を持ち、理解を深めることにつながりました。



林業機械の実演



森のクイズスタンプラリー

環境教育推進事業

【自然環境観察】

町内の児童生徒と保護者を対象に、森林散策の中で身近な生物や危険な生物について学んだほか、川に生息する生物などを観察する自然観察会を行いました。

【地域学講座】

山の恵みであるトビタケやゼンマイ、ウド、サクラシメジなどを用い、かつて田沢頭地区で作られていた不祝儀のお膳を再現する料理講座を開催しました。



水辺の生物観察会



山の恵みを使った料理勉強会

森から拓く次代の生業づくり事業

【林業機械操作技術研修】

町内林業従事者がより安全に作業を行えるよう、町民を対象に刈払機やチェーンソーに関する安全衛生教育研修を行いました。



刈払機研修会



チェーンソー研修会

マタギの小路づくり事業

小玉川地区のブナ林内にある山道を森林散策ウォーキングルートとして整備したほか、健康づくりや地域内外の交流の場として活用するためのセミナーを開催し、地形を活かしたウォーキングによる健康づくり法やルート設定手法について学びました。また、森林散策体験を行い、森林の持つ効能を実感しました。



セミナーの開催



ウォーキングルート散策

環境対策事業

森林資源を利用した生ごみのたい肥化を行い、環境にやさしく自然の活力を活かした作物の生産につなげる仕組みづくりに取り組んでいます。できた野菜は、町内の保育園に給食の食材として提供しました。



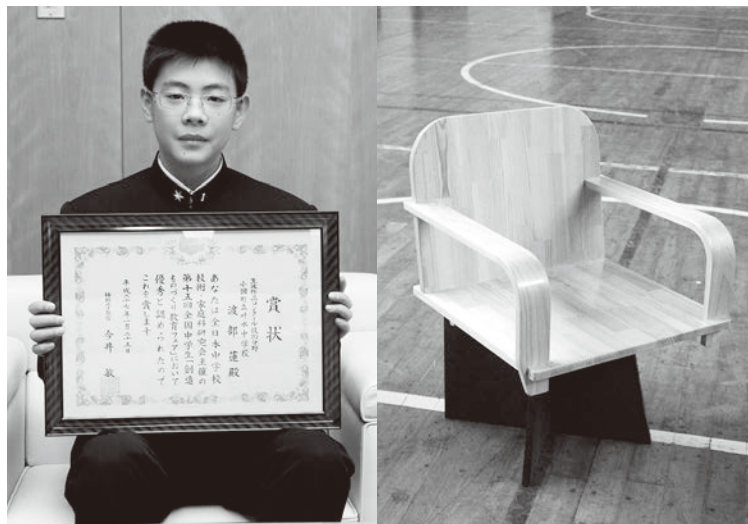
作ったたい肥で野菜を生産



給食の食材として提供



叶水中学校の渡部蓮くんが林野庁長官賞を受賞 ～第15回全国中学生創造ものづくり教育フェア～



叶水中学校1年の渡部蓮くん（新股）が、第15回全国中学生創造ものづくり教育フェアで、林野庁長官賞を受賞しました。

受賞した作品は「肘かけイス」で、肘かけ部分に挽き曲げ法を使って丸みを持たせたほか、脚部分の色を変えるなど、こだわりあるデザインとなっています。根気が必要な作業や木材の良さを引き出したカラーリングなどが評価されての受賞となりました。

渡部くんは、「制作作業はとても楽しく、思った以上にうまく作ることができたと思います」と話してくれました。

愛着ある手作りほうき ～地域学講座ほうき作り～

地域学講座ほうき作りが、2月7日と8日の2日間にわたって、りふれで開催されました。これは、伝統文化を幅広い年代へ伝えようと町教育委員会が主催したものです。今回は、かつて冬の手仕事として作られていたほうき作りを行いました。

参加者は、講師の齋藤力男さん（五味沢）から草の編みかたや締めかたのコツなどを教わりながら、それぞれの手の大きさに合わせた世界にひとつだけのオリジナルほうきを完成させました。



パークゴルフで町を元気に ～小国町パークゴルフ協会を設立～



小国町パークゴルフ協会の設立総会が、2月15日、水源（みず）の郷交流館で開催されました。同協会は、パークゴルフの普及と振興を通して会員相互の交流と親睦を図り、健康で明るく楽しい地域社会づくりを目的に町内の愛好家50人を会員として設立されました。

総会では、協会規約の承認や理事、監事等の選出が行われ、会長に渡部茂さん（大石沢）が就任しました。渡部会長は「パークゴルフを通じて交流を深めながら町を活気づけていきたい」とあいさつしました。

防犯の心を広めよう ～防犯ポスター・標語表彰式～

小国町防犯協会（会長：盛田信明町長）による防犯ポスター・標語表彰式が、1月29日、総合センターで行われました。

今回のコンクールには、町内の小中学生からポスターと標語それぞれの部門に、あわせて178点の応募があり、その中からポスター3点と標語17点の作品が表彰されました。

表彰式では、制作した児童と生徒に賞状と記念品が贈られました。



楽しい中にも真剣勝負 ～小国町ウインタースポーツ大会～



平成26年度小国町ウインタースポーツ大会が、2月22日、横根スキー場を会場に開催され、多くの町民が参加しました。

この大会は、町内の各地区の体育協会による対抗戦形式で進められ、スキーやスノーボードによる大回転やジャンプ競技のほか、かんじきリレーや新種目の肥料袋で斜面を滑るけつつ滑りリレーなどのレクリエーション種目が行われました。各種目に出場した選手たちに、各陣地からは大きな声援が上がっていました。熱戦の末、沖庭地区が優勝しました。

シリーズ 協力隊通信 ⑩

「末永い関係を」

第21期 緑のふるさと協力隊
宮本 史人



お世話になった皆さんと一緒に

小国での生活もあっという間に11カ月になりました。隊員として初めて来町した日のことが昨日のことのよう思い返され、ようやく慣れたと思ったら帰ることになってしまった感じがします。活動を通じて、小国町のことが大好きになりました。美しい自然や真っ白な雪がある所は全国のどこかにあるのかもしれませんが、自分が見て、ふれてきた馴染みある小国の風景、そしてそこで出会い、言葉を交わした小国の人々は、ここでしか味わうことのできない宝物です。お礼と感謝の気持ちでいっぱいです。

4月からは、大学に戻りますが、その後の進路はまだ模索中です。この一年の経験や人とのつながりを今後の生活や就職にどう活かしていくか、じっくり考えていきます。域学連携事業を通じて早稲田大学内に小国町と交流を行う大学公認のサークルができました。大学に戻ったら私も参加して小国の魅力を発信していきたいと思います。これからも小国とはずっと関わり続けていきたいです。来年も、再来年も小国に来ます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。一年間、本当にありがとうございました。

ご案内

**小国町議会議員選挙立候補
予定者および出納責任者説明会**

平成27年4月26日執行予定
の小国町議会議員選挙にお
ける説明会を行います。立候補を
予定されているかたや出納責
任者となるかたまたはその代
理のかたは出席ください。

■日時 3月24日(火)

午後2時～

■場所 役場4階大会議室

■問合先 小国町選挙管理委
員会事務局(総務企画課内
☎62・2112)へ

募集

町営住宅入居者募集

《町営住宅あけぼの団地》

3DK 1戸(2階)

■家賃 所得と家族構成による

■対象 所得制限あり

《小坂町勤労者住宅》

2DK 3戸(1、2、3階)

■家賃 38000円

2K 1戸(1階)

■家賃 33000円

■対象 町内の事業所にお勤
めのかた

■敷金 家賃の3カ月分

■募集期限 3月10日(火)

■入居時期 3月下旬以降

■問合先 地域整備課建設管
理室(☎62・2431)へ

認知症講座を開催

現在、全国の85歳以上の4
人に1人は認知症の症状があ
ると言われており、今後も増
える予想されています。自
分自身や家族のため、地域の
皆さんのため、認知症につい
て学んでみませんか。

■日時 3月20日(金)

9時30分～11時30分

■場所 健康管理センター風
のホール

■内容

第1部「頭の健康チェック」

第2部「認知症の正しい理
解と対応についての講座」

※第1部か第2部どちらか一
方の参加でもかまいません。

■問合先 健康福祉課(☎61
・1000)へ

おぐに白い森(株)社員募集

■募集職種(いずれも若干名)

一般事務職 概ね30歳

運転業務 概ね40歳

※運転業務は大型免許必要

■学歴 高卒以上

■申込方法 履歴書を当社ま
で郵送ください。

■申込締切 3月16日(月)

■申込・問合先

〒999・1361 小国
町大字栄町30おぐに白い森
(株)(☎62・4518)へ

国税専門官採用試験

■申込受付期間

《インターネット》

4月1日(水)～4月13日(月)

《郵送または持参》

4月1日(水)～4月2日(木)

■第1次試験日 6月7日(日)

※申込は原則インターネット
から行ってください。持参
用受験申込書の請求は、最
寄りの税務署、仙台国税局
または人事院東北事務局へ
お願いします。詳細は国税

庁ホームページまたはお電
話でお問い合わせください。

■問合先 仙台国税局人事第
二課試験研修係(☎022

・263・1111)へ

ラブリィ・フレンドリー・ 鍋パーティー!を開催

野菜ソムリエ監修のさまざま
な鍋を囲み、飲んで食べて
トークしてステキな出逢い
を見ついませんか?鍋の後は
チョコファウンテンなどのス
イーツのほか、アフターパ
ーティーもご用意しています
ので、ぜひご参加ください。

■日時 3月22日(日)

①1部11時～ ②2部15時～

■場所 米沢市「松川コミュ
ニティセンター」

■人数 20歳から40歳前半の
独身男女15人ずつ

■会費 男性3000円

女性2000円

■その他 申込方法など詳細
は当事務組合ホームページ
をご覧ください。

■問合先 置賜広域行政事務
組合企画財政係(☎0238
・23・3246)へ



※日程が変更になる場合は、
アスモ掲示板でお知らせします。

3月の 保健カレンダー

1. 各健診の日程等

■4カ月児健診

- ・期 日 3月13日(金)
- ・受付時間 13:10~13:30
- ・対 象 平成26年11月生まれ

■1歳児健診

- ・期 日 3月13日(金)
- ・受付時間 13:00~13:10
- ・対 象 平成26年3月生まれ

■1歳6カ月児健診

- ・期 日 3月6日(金)
- ・受付時間 12:30~13:00
- ・対 象 平成25年7月、8月、
9月生まれ

2. 場 所 健康管理センター

3. その他 母子健康手帳を持参 ください。

4. 問合先 健康管理センターへ

子育て支援センターから

☆あそびの広場☆

■日 時 3月3日、10日、
17日、24日(24日は健康管
理センターで開催)

午前9時30分~11時30分

■対象者 0歳から入園前
のお子さんとお家のかた

☆なかよし広場☆

■日 時

【毎週月曜日・木曜日】

午前9時30分~11時30分
午後1時~3時30分

※第2、4木曜日の午後はお
休みとなります。

【毎週火曜日】

午後1時~3時30分

■対象者 0歳から入園前
のお子さんとお家のかた

☆ゆきんこ広場☆

■日 時

【毎週水曜日・金曜日】

午後1時~午後3時30分
※13日はお休みとなります。

■対象者 0歳から入園前
のお子さんとお家のかた

☆赤ちゃん広場☆

■日 時 3月12日

午後1時~午後3時30分
■対象者 生後4カ月から18
カ月のお子さんとお家のかた

求 人 情 報

右の表は2月19日現在でハロー
ワークへ登録された求人のうち、小国
町をおもな就業先としている求人情報
です。既に雇用が確定している場合も
ありますので、ご了承ください。

求人情報の詳細については、ハロー
ワーク長井(☎84-8609)へ。

今月の納税 2015.3

3月の税金等の口座振替
は、次のとおりです。振替日
の前日まで、指定の口座に入
金してください。

●3月26日(木) 水道料

●3月31日(火)

国民健康保険税、後期高齢
者保険料、介護保険料、下水
道料、簡易水道料、住宅使
用料、保育料等

■問合先

町民税務課税政管理室へ

事 業 所 名	職 種	求人数	勤 務 時 間
国土交通省北陸地方整備 局飯豊山系砂防事務所	(臨) 事務補助	1人	8:30~17:15
(株) 小 国 タ ク シ ー	タクシー運転手(急募)	2人	6:00~18:00他
(株) 船 山 工 務 店	土木施工管理技士	1人	8:00~17:00
	土木作業員	1人	8:00~17:00
社会福祉法人小国福祉会	看護師(常勤正規職員)	1人	7:30~16:30他
(株) ケ イ プ ロ ダ ク ツ	受注管理	2人	9:00~18:00
	ショッピングサイト管理	1人	9:00~18:00
安 部 工 業 (株)	運転手	2人	8:00~17:00
	現場監督員	2人	8:00~17:00
(有) 小 国 技 研	ボーリング洗浄工および 作業管理補助	2人	8:00~17:00
北 伸 自 動 車 工 業 (株)	自動車修理工(急募)	1人	8:20~17:20
(株) K S 産 業	試験係(技術)	2人	8:00~17:00

※先月号掲載分以降に新規で登録された求人を掲載しています。

3月の あいイベント

フットサル MIX CUP



- 日 時 3月22日(日) 8:35 集合
- 対 象 6人制(女性3人以上、選手15人以内)
- 持 ち 物 室内シューズ、飲み物
- 参 加 費 1チーム3,000円(保険代込み)
- 申込締切 3月6日(金)
～詳細は下記までお問い合わせください～
- 申込・問合せ

おぐにYui (☎62-5808) へ
 スポーツクラブ

第4回小玉川雪まつり 雪の中の大冒険

雪壁の巨大迷路での宝探しやスノーフラッグ対決など、雪を楽しむアトラクションが満載です。皆さんぜひお越しください。

- 日 時 3月8日(日) 10:00～15:00
- 場 所 旧小玉川小中学校グラウンド
- 日 程
 - ・宝さがし
1回目 10:30～ 2回目 13:00～
 - ・スノーフラッグ対決
1回目 11:30～ 2回目 13:30～
- 入場料 無料



～お車でお越しのお客様さまへ～

会場駐車場または飯豊梅花皮荘駐車場へお停めください(会場と飯豊梅花皮荘間を無料バスが運行)

- 問合せ 小玉川青年団イチコロ
代表舟山 (☎090-3644-7881) まで

総合センター図書室から

～新着図書～

- ◇移動販売車がゆく
 - ◇キャプテンサンダーボルト
 - ◇決戦! 関ヶ原
 - ◇鹿の王
 - ◇世界を操る支配者の正体
 - ◇中学生までに読んでおきたい日本文学 全10巻
- 休館日 毎週月曜日・祝日
 宮 下 武 久
 阿部和重・伊坂幸太郎
 伊 東 潤 ・ 他
 上 橋 菜 穂 子
 馬 淵 睦 夫

相 談

▽年金相談

- 日 時 3月18日(水)
10:30～14:00
- 場 所 役場町民相談室
- 対応者 米沢年金事務所職員
- 申込み 事前に申込みが必要です。
- 申込・問合せ先
町民税務課住民窓口担当へ

▽人権相談

- 日 時 3月18日(水)
10:00～12:00
- 場 所 役場
- 対応者 町人権擁護委員
- 問合せ先 町民税務課住民窓口担当へ

▽消費者相談会

訪問販売や電話勧誘の相談もお受けします

- 日 時 3月28日(土)
10:00～15:00
- 場 所 役場雇用相談室
- 対応者 司法書士 舟山健蔵 氏
- 申込み 申込みが必要です。(当日可)
- 申込・問合せ先
町民税務課町民生活担当へ

越後米沢街道・十三峠 黒 沢 峠 スノートレッキング

越後米沢街道・十三峠のひとつ、黒沢峠をガイドの案内を聞きながら歩いてみませんか。

- 日 時 3月14日(土)
9:30～16:30
- 集合場所 総合センター
- 持ち物 スノーウェア一式、敷物、かんじき(スノーシュー)、お弁当、飲み物、行動食
- 参加費 1,000円(保険代など)
- 申込締切 3月10日(火)
- 申込・問合せ先 NPO法人ここ掘れ和ん話ん探検隊 (☎62-5955) へ



●小国町役場 ☎62-2111(代) fax62-5464
 ●行政管理室 ☎62-2112 ●政策企画室・地域振興室 ☎62-2264
 ●国保医療担当 ☎62-2261 ●税政管理室 ☎62-2403 ●住民窓口担当・町民生活担当 ☎62-2260
 ●農林振興室 ☎62-2408 ●商工観光室 ☎62-2416 ●会計室 ☎62-2406
 ●建設管理室 ☎62-2431 ●建設技術室 ☎62-2432 ●議会事務局 ☎62-2448

長井法務局証明サービスセンターをご利用ください

法務局が発行する証明書交付窓口を長井市役所第二庁舎に設置していますので、ご利用ください。

■利用時間

平日 9:00～12:00、13:00～16:30

■設置場所

長井市役所第二庁舎1階 長井法務局証明サービスセンター(長井市ままの上5番1号)

■取扱業務

- 1) 不動産および会社・法人の登記事項証明書
※地図および各種図面等の写しの請求はできません。
※会社・法人の登記事項証明書請求の際に、印鑑カードをお持ちいただくと便利です。
※不動産および会社・法人の要約書の請求はできません。
- 2) 会社・法人の代表者事項証明書および印鑑証明書
※印鑑証明書請求の際には、印鑑カードおよび代表者の生年月日が必要となります。
- 3) 動産譲渡登記および債権譲渡登記の概要記録事項証明書
- 4) 米沢支局にオンラインで交付請求(当センターを受取指定)した上記各種証明書の交付

■問合先 山形地方法務局米沢支局
(☎0238-22-2148)へ

子育て支援医療証の更新について

小国町では、中学生以下のお子さんの医療費無料化を実施していますが、平成27年3月現在、小学3年生から中学2年生までのお子さん、平成27年度に小学校に入学するお子さんについては、平成27年4月から新しい子育て支援医療証が必要になります。

該当するお子さんの保護者の皆さんには、別途お知らせをお送りいたしますので、手続きくださるようお願いいたします。

■問合先 町民税務課国保医療担当へ

生活困窮者自立支援制度がスタート

県では、平成27年4月から、日常生活の中での困りごとや悩み、失業や離職、病気、借金問題など、さまざまな理由で困っているかたの相談や支援を行う「生活困窮者自立相談支援事業」を開始します。

相談を担う生活困窮者自立相談支援事業者は、今後県において委託先を決定しお知らせします。

■問合先 置賜総合支庁保健福祉環境部福祉課(☎0238-35-9051)へ

入札結果情報 (平成27年1月21日～平成27年2月20日実施)

単位(円)

入札日	工 事 名	施行場所	工期(完了)	予定価格	落札業者	落札価格
H27.1.26	平成26年度 町道松岡大石線横断函渠流末整備工事	伊佐領	H27.3.25	8,368,000	安部工業(株)	8,300,000
H27.1.26	平成26年度 滝の沢川護床工事	種沢	H27.3.25	3,352,000	大和建設運輸(株)	3,350,000
H27.2.2	平成26年度 道路台帳補正業務委託	町内	H27.3.31	1,692,000	国際航業(株) 山形営業所	1,550,000
H27.2.2	平成26年度 町岩地区導水路落雪防止梁設置工事	町原	H27.3.27	2,488,000	斎藤建設(株)	2,300,000
H27.2.18	平成26年度 小河川整備事業 油子沢川流路整備工事	小国町	H27.3.25	10,421,000	遠藤建設(株)	10,300,000
H27.2.18	平成26年度 町道西滝市野々線雪崩対策工事	新股	H27.3.27	8,374,000	大和建設運輸(株)	8,250,000

※入札結果情報の金額は消費税及び地方消費税を含みません。



戸籍のまど

誕生おめでとうございます。

緑 町 鈴木 慶^{けいすけ} 介^{すけ} (俊 朗
真 理
黒 沢 伊 藤 和^わ 心^こ (拓 実
梨 真
田 沢 頭 舟 山 湊^{みなと} 人^と (健 太
美 里

結婚おめでとうございます。

(緑 町 和 田 明 人
小 国 町 西 澤 愛 美

おくやみ申し上げます。

叶 水 舟 山 リ ツ (90)
舟 渡 木 村 く に (81)
岩 井 沢 部 ハ ル (81)
井 驚 安 部 部 ハ ヨ (76)
菅 沼 佐 藤 三 樹 (85)
岩 井 貝 今 盛 康 正 (84)
片 北 佐 藤 盛 コ ト (87)
栄 町 砥 須 石 ア ヤ 子 (79)
栃 倉 須 仁 貝 石 ふ ゆ え (94)
東 原 仁 高 科 橋 明 し 美 ず (58)
片 兵 庫 赤 藤 澤 啓 吉 (84)
岩 井 齋 藤 松 吉 男 (83)
北 貝 市 藤 川 二 シ (95)
片 佐 藤 藤 川 二 夫 (63)
 佐 藤 藤 川 二 夫 (62)

人口のうごき (平成 27 年 1 月 31 日現在)

人口 男・・・4,071 人 (－ 6)
女・・・4,245 人 (－ 12)
計・・・8,316 人 (－ 18)
世帯数 3,138 世帯 (－ 7)

～訂正とおわび～

先月号の戸籍のまど「誕生おめでとうござい
ます」欄において、名前に誤りがありました。

(誤) 伊藤^{さすけ}嵯祐ちゃん→(正) 嵯祐^{さすけ}ちゃん
訂正し、おわびいたします。

編集後記

小国町ウイン
タースポーツ大会
の新種目「けつつ
滑りリレー」では、
小学生から高校生
までが参加し、肥
料袋に座って笑い
声と悲鳴を上げなが
ら滑っていました。それ
を見ていた大人たちは、「昔
はよくやったんだ。今度
大人の部もつくってく
れないかな」と話してい
ました。これをきっかけに
「けつつ滑り」が流行す
るかもしれません。(伊藤)

～ふるさとへの想い～

シリーズ②『故郷小国に限りない感謝を込めて』

いまむら いっこ
今村 逸子さん
(旧姓：伊藤)

鹿児島県^{あいら}始良市在住

叶 水 出身



友人と指宿にて (本人写真右)

小国を離れて三十余年、現在鹿児島県で夫と
ともに米作りと有機野菜作りに励む日々です。錦
江湾を挟んで目の前に桜島を望むここ始良市は、
鹿児島市のベットタウン。時々、桜島からの降灰
はあるものの、温暖で暮らしやすい土地です。

年に数回しか雪の降らない当地では、冬になる
と故郷の雪の中の日々を思い出します。吹雪の日
も早朝から大人たちがかんじきで踏み固めてくれ
た一本道や春間近の楽しみだった凍み雪渡りの通
学路。今はすっかり様変わりしていますね。

長い冬を過ぎると、光り輝く春が待っています。
雪の下から顔を出すフキノトウやノビル、ツクシ、
雪解けを待ちきれず花開くマンサクやコブシ。春
の野山は、私の心をわくわくさせました。友だち
と駆け巡った野山は、今も変わりなく美しく芽吹
くことでしょう。

今、ひとり小国に残っている母は、周囲の皆さ
んに温かく支えていただき、元気に過ごしていま
す。私たちを育ててくれ、今、母を守ってくれて
いる故郷小国に、限りない感謝でいっぱいです。
そして、小国の明日を担うかたがたが、厳しい自
然の中にあっても小国の宝物を活かしてともに助
け合あい、力強く進んでくれることを心から願っ
ています。



昭和 56 年 児童の下校風景(旧小国大橋)

新町誕生60周年記念
写真で振り返る
「あの頃の我が町」